

テキストマイニングと デジタル・ヒューマニティーズ

主催: 九州大学異分野融合テキストマイニング研究会 <http://mtc.kyushu-u.ac.jp/>

共催: 九州大学学術研究・産学官連携本部、同情報基盤研究開発センター、同大学院経済学研究院、
同大学院言語文化研究院、同大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻

後援: 同大学院法学研究院

異分野融合テキストマイニング研究会

異分野融合テキストマイニング研究会は、分析することで有意義な情報が得られる可能性の高いデータ(文書群)を持つ研究者と分析技術は持つものの分野限定のデータの解読技術を持たない研究者を結びつけることで、九州大学におけるテキストマイニング研究を推進しています。議会議事録や法律文書、企業報告書、新聞記事などの文書データを自然言語処理を用いて工学系の研究者が解析し、さらにそれを人文・社会科学系の研究者が個々の分野の知見を活かして分析することで、これまでに無い新しい視点の異分野間融合型のテキストマイニング研究を目指しています。

2016年1月30日(土)
九州大学箱崎文系地区中講義室

[お問合せ先]

九州大学大学院法学研究院 大賀哲
092-642-4460
toga@law.kyushu-u.ac.jp

12:30 開場

13:00- 開会挨拶

13:10 九州大学副理事/学術研究・産学官連携本部 副本部長 古川 勝彦 教授

13:20- [第Ⅰ部] KHCoder入門講座

14:50 立命館大学産業社会学部 樋口 耕一 准教授

「入門・計量テキスト分析— KH Coderによる分析体験をまじえて」

※要 Windows PC 持参

14:50-15:00 休憩

15:00- [第Ⅱ部] テキストマイニング

16:30 立命館大学文学部 田中 省作 教授

「学術情報マイニング— 論文・機関リポジトリ・研究者情報の活用事例」

16:30-16:40 休憩

16:40- [第Ⅲ部] デジタル・ヒューマニティーズ

18:10 人文情報学研究所 永崎 研宣 主任研究員

「テキストマイニングをめぐるデジタル・ヒューマニティーズの課題」

18:10- 閉会挨拶

18:15 九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻 専攻長

富浦 洋一 教授

18:30- 懇親会(会費別)

無料

(懇親会費別)

院生・学部生も
参加できます



[申し込み方法]

件名に「テキストマイニング研究会シンポジウム」とお書きのうえ、学術研究・産学官連携本部 総括企画調整グループ coordinate@airimaq.kyushu-u.ac.jpまで、お名前、ご所属(職名)、連絡先(メールアドレス等)、懇親会参加の有無をお知らせください。



メール
アドレス

こちらから申し込みフォームへアクセスできます。 <http://goo.gl/dCfkgB>



申し込み
フォーム

[プロフィール]



立命館大学産業社会学部 樋口 耕一 准教授

2005年大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。博士(人間科学)。日本学術振興会特別研究員、大阪大学大学院人間科学研究科助教を経て2008年より現職。専門は社会学、とくに情報行動についての調査研究および内容分析(content analysis)の方法論。著書『社会調査のための計量テキスト分析 一内容分析の継承と発展を目指して一』ナカニシヤ出版、2014年ほか。



立命館大学文学部 田中 省作 教授

2000年九州大学大学院システム情報科学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。九州大学情報基盤センター・高等研究機構助手、立命館大学文学部助教授を経て、2012年より現職。自然言語処理、計算言語学、それらの他分野への応用に関する研究に従事。



人文情報学研究所 永崎 研宣 主任研究員

2000年筑波大学大学院哲学・思想研究科単位取得退学。博士(文化交渉学・関西大学)。東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、山口県立大学准教授を経て、現在、一般財団法人人文情報学研究所主席研究員、東京大学大学院情報学環特任准教授。1995年頃より、人文学におけるデジタル化について様々な角度から研究と実践を続けてきている。

[アクセス]

